

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 コンプリート・アニヒレーション 2	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.530	△RG 0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ラベージ VI

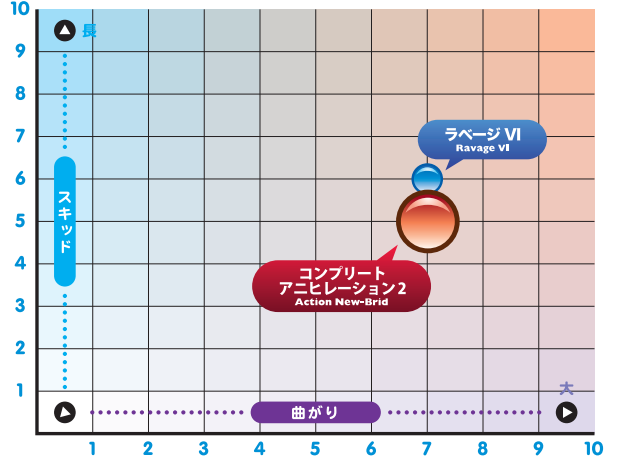
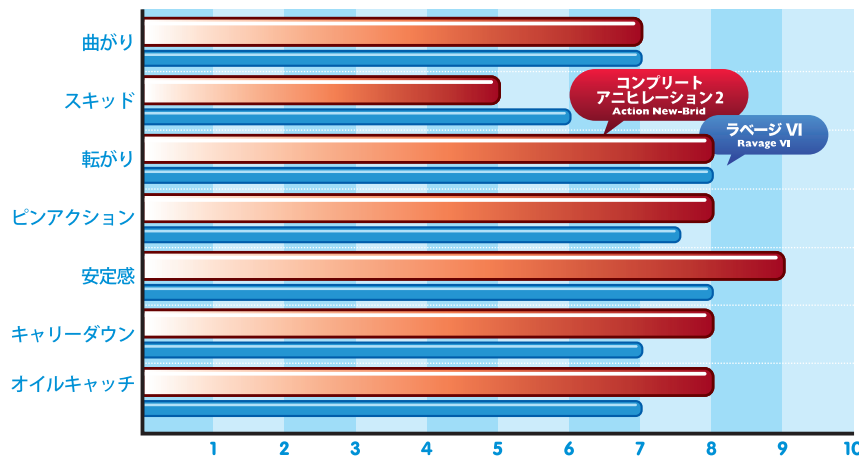
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

初代コンプリートアニヒレーションは大きく幅を取り、出し戻しができるスペックで多くのファンの心をつかみ、即日完売に至りました。今回は過激さよりも確実なピンヒットとオールマイティなコンディションで使用できるスペックとしてコンプリート・アニヒレーション 2 をリリース致します。心臓部にはアニヒレーションの名を受け継ぎフリップブロックコアを搭載、カバーストックには初めて採用される Super Hybrid Coverstock Alpha を纏っています。投球したイメージは **しっかりと転がりながら手前からの強いキャッチを感じ、緩やかに軸移動しながら力強いピンヒットを感じました。** 比較対象ボールのラベージVIと比べても、しっかりと軸移動を感じるのはこのコンプリート・アニヒレーション 2 で、**大きく幅を取らずにオイル上を泳がしてもピンヒットまでの軸移動を完了させることが出来ます。** 私のイメージでは以前発売されたお気に入りのボールの「ショック & オウ」に良く似ています。その「ショック & オウ」をさらにしっかりと軸移動を完了させられるイメージが強く、強めの軸移動がピンアクションにも絶大なる効果を発揮しているようにも感じました。このコンプリート・アニヒレーション 2 の **最大の武器はオイルの濃淡をあまり感じさせない特性があり、幅広いコンディションで曲がりのイメージを変えずに投球ラインを選択できる** ことです。コンディションによりリアクション特性の変化の感じ方を最小限に抑えることが出来るという事は、オールマイティに使用できるボールの証であり、完成度の高さを証明していることでもあります。私の中ではもう一つ持っておきたい性能のボールで、この完成度の高さはモーリッチファン必見の逸品です。

特記事項

幅広いコンディションで使用でき、軸移動の高さが味わえるボール。その軸移動が魅せるパーフェクトなピンヒットは、確実に 10 本のピンをなぎ倒すことでしょう。